

R6 矢上小学力向上プラン構想図

学校目標

地域に根差し、次代を担う、心身ともに健康な子どもを育成する

めざす子ども像

やさしく思いやりのある子ども
がまん強くたくましい子ども
みずから考え取り組む子ども

研究テーマ

主体的・対話的に深く学ぶ子供の育成

【学力向上を目指す6つの視点】

学びを支える連携・協働
(家庭・地域)

① 主体的・対話的で
深い学びの実践
(授業改善)

協働的な学び

個別最適な学び

② 学習規律
(揃える)

⑤ わかる授業

学力向上
(学校力向上)

③ 児童指導
家庭学習の充実
(基本的な生活習慣)

④ 学級経営
(支持的風土)

⑥ インクルーシブ教育
(個別の課題への支援)

学力調査における算数科の「思考力・表現力・判断力」の観点で全学年の正答率が市平均を超えることを目指す。

【主な内容】

○児童指導

- ・「矢上っ子まるわかり」
「笑顔が花咲く矢上小」
「こんな子どもになろう」
(持ち物・掲示物を揃える)
- ・家庭学習の手引き
低学年30分
中学年1時間
高学年1時間半
- ・1分前着席
黙想→挨拶
(学習規律を揃える)
- ・家庭・地域との連携

学びを支える連携・協働

○主体的・対話的で深い学びの実践

- ・「めあて」と「まとめ」が明確な授業づくり
- ・児童と設定する「めあて」や「学習の見通し」
- ・「問題解決」「情報の整理分析」「発信」の場面でのICT活用(わかる授業)
- ・話型の設定し、対話の活発化を図る。
(他者とのすり合わせ)
- ・「矢上小学校目指す子供像」を設定。各学年で目標を設定し、特に算数科の授業で実践を行う。

協働的な学び

○インクルーシブ教育

- ・算数での少人数、TTの実施
- ・ICT活用の時間の確保
(個に合わせた学習進度の確保)
- ・個別に課題がある児童への支援
- ・スキルタイムの活用(基礎基本の定着:モジュール時間の活用)
- ・スマイル教室(専門スタッフとの連携)

個別最適な学び